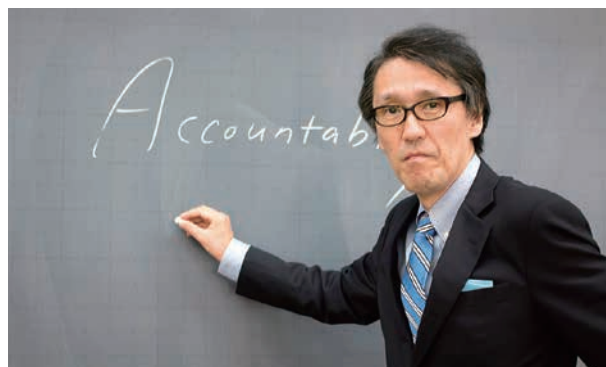


研究テーマ》 戦略的管理会計論

教 授》 川野 克典 かわの かつのり

担 当 科 目》 管理会計論B, 会計実践演習, 簿記論1, 会計学入門2



授業のねらい

管理会計とは、企業が儲けるための会計です。財務会計が主として過去の経営成績、財政状態を扱うのに対して、管理会計は過去、現在、将来を扱う会計です。川野ゼミナールでは、企業等で活用できる実践的な管理会計を中心に、経営戦略、マーケティング、ビジネスモデル等についても調査、研究を行い、将来、企業や監査法人等で大活躍できる「キラリと光る」人財の育成を目指しています。

授業の内容

ゼミナール1・2・3・4・卒業論文

管理会計のみならず、経営戦略やマーケティング、ビジネスモデル、コンサルティング手法、教養としての古典、社会動向等の関連分野についても幅広く調査、研究するゼミナールです。

外部の研究発表大会にも積極的に挑戦しており、インナー大会、アカウンティングコンペティション等の研究発表大会に参加しています。また、公認会計士や税理士、日商簿記検定試験等の会計系資格等を目指す学生が多いゼミナールです。ゼミナール学生全員が目標を持ち、目標達成に向けて努力するゼミナールです。

授業は、ゼミナール学生がMS-PowerPointを使って資料を作成、プレゼンテーションを実施した後、質疑応答、議論を行います。

ゼミナール1・2では、ゼミナール学生全員の持ち回りで管理会計のテキストを1章ずつ読み進め、ゼミナール3・4では管理会計に止まることなく、経営戦略、企業変革方法や教養として読んでおくべき古典等を幅広く調査、研究を行います。ゼミナール1・2は基礎理論、ゼミナール3・4は応用や実務、教養を重視しています。

卒業論文は、論理的思考、独創性、仮説検証を重視して、論文執筆の指導を行います。

【卒業論文のテーマ例】川野ゼミナールでは、所属する学生全員が卒業論文を提出して、卒業しています。2023年3月の卒業生の卒業論文のテーマは以下の通りです。会計学の要素を組み込むことを条件にして、管理会計、会計学に止まらず、多様な分野からテーマを選択することを許容しています。

「わが国における中小企業会計に関する考察」、「銀行のDX改革」、「日本農業の経営改善と活性化について」、「経理部門におけるDX」、「排出量取引の運用と金融市場の変革」、「健康経営が企業に及ぼす影響について」、「統合報告書の現状と未来」、「AIの有用性と社会に与える影響」、「働き方改革の推進～RPAを用いて～」、「国際税務戦略の必要性～国際税務戦略の構築に向けて～」、「DXの推進の現状と取り組むべき課題」

その他

夏と春に合宿を行う他、工場、オフィス等の見学、外部の研究発表大会への挑戦等、授業以外の活動が多いゼミナールです。経営シミュレーションゲームを行い、企業経営と会計実務も体験します。また、就職活動の指導や公認会計士や税理士等の会計系資格試験指導も実施し、ゼミナール学生のキャリア開発にも積極的に取り組んでいます。これらの成果として、卒業生は、資格試験に合格して、上場企業、優良企業、金融機関、監査法人等に就職している「就職に強い」ゼミナールです。



研究分野

管理会計、原価計算、原価管理、会計実務、企業経営管理、企業変革、経営管理情報システム、農業協同組合（JA）経営、戦略的中期経営計画、会計学教育、経営シミュレーションゲーム、業務改善、ものづくり管理会計、内部統制、固定収益マネジメント

主な研究業績など

電子部品会社、経営コンサルティング会社を経て、現職。『管理会計の理論と実務第2版』（単著）、『ものづくりの生産性革命』（編共著）、『強い会社をつくる「バランス会計」入門』（編共著）、『改訂版業績評価マネジメント』（編共著）、『固定収益マネジメント』（編共著）、『原価計算見直しの実務』（編共著）など、多数の著作、論文がある。